

## 「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画(第4期)」に基づく進行管理表(事業実施状況表)

## 第1 県民等による自主的な活動の推進

施策	事業	具体的な取組内容	H29実績	担当課
1 県民等の防犯意識の高揚	(1)自主的な防犯環境整備の推進	身近な防犯環境の整備	○ ボランティア団体と警察との協働したパトロール、通学路の点検、地域安全マップの作成を行った。	環境生活総務課 生活安全企画課
		防犯灯、防犯カメラの設置促進	○ 警察予算により街頭防犯カメラを設置した。 ○ JA共済連から県防犯連合会に対し、街頭防犯カメラ100台の寄贈を受け、県内各地に設置した。 ○ 自治体、企業等に対し、街頭防犯カメラの設置の働き掛けを行った。	環境生活総務課 生活安全企画課
	(2)各種媒体を活用した広報・啓発	各種広報媒体を活用した県民への意識啓発	○ 民放テレビ局の情報番組やテレビ・ラジオのスポットCMのほか、ホームページ、ポスター等を活用した犯罪被害防止広報を行った。 ○ しまね安全安心ネットメール、みこびー安全メール、島根県警察安全安心情報ツイッター等により、県民に対して各種防犯情報を提供した。 ○ 交番広報紙等により、各種防犯情報を提供した。	環境生活総務課 生活安全企画課
		啓発ポスターの募集や表彰	○ 山陰中央新報社と、犯罪のない安全で安心なまちづくり啓発ポスターコンクールを主催した。 ○ 小・中学校、高校等に対しポスターを募集し、優秀作品の審査、表彰及び作品を活用した広報を行った。 ○ 各警察署において、小・中・高校等に対する募集活動を行った。 ○ 10月15日、松江市で開催した、「犯罪のない安全で安心なまちづくり大会・地域防犯ボランティア交流会」において最優秀賞等の表彰を行った。	環境生活総務課 教育指導課 生活安全企画課
		犯罪は最大の人権侵害であることについての広報啓発	○ 「しまね人権フェスティバル2017」における啓発展示(出展:環境生活総務課 10月15日 安来市 参加者約830人)を行った。	人権同和対策課
	(3)まちづくり旬間における広報・啓発	「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」の浸透化と定着化	○ 旬間開始街頭キャンペーンを行った(10月11日、松江駅)。 ○ 「犯罪のない安全で安心なまちづくり大会・地域防犯ボランティア交流会」を開催(10月15日、松江市)した。 ○ 各種媒体を活用した「犯罪のない安全で安心なまちづくり旬間」の広報を行った。	環境生活総務課 教育指導課 生活安全企画課
	(4)地域安全情報の提供	重層的防犯ネットワーク等を活用した安全安心情報等の迅速な提供	○ 金融機関、配送事業者、コンビニエンスストアあての振り込めメールネットで、特殊詐欺発生時に情報提供をして水際対策の強化を図った。 ○ 民生児童委員、公民館、老人クラブ連合会へ「防犯テキスト」等を配布し、防犯意識啓発のための活用を依頼した。	生活安全企画課
		多様な広報媒体を通じて犯罪情勢や防犯対策等の情報の広域的な提供	○ テレビや新聞等を活用し、特殊詐欺をはじめ、各種犯罪被害防止等を目的とした情報提供を行った。 ○ 「くらしの情報」の発行、「だまされないゾウくんツイッター」等各種媒体を活用し、特殊詐欺被害防止等に関する情報をタイムリーに発信した。 ○ みこびー安全メール、島根県警察安全安心ツイッターを活用し、タイムリーかつ広域的な情報提供を行った。	環境生活総務課 生活安全企画課
		「みこびー安全メール」や「不審者情報マップ」による犯罪情勢等の迅速な提供と加入者の促進	○ みこびー安全メールや島根県警察安全安心情報ツイッターにより、タイムリーな情報を提供するとともに、島根県警察ホームページでの登録呼び掛けや、学校、各種防犯講習会において周知活動を行うなど、登録者の拡大を推進した。(メール登録者6,442名/H29.12末) ○ 島根県警察ホームページに「不審者情報マップ」を掲出し、随時更新を行った。	生活安全企画課 少年女性対策課
	(5)講演会・研修会等の開催	県内の通話エリア拡大の促進	○ 市町村が実施する携帯電話の不感地域を解消するための移動通信用鉄塔整備を支援した。(国庫補助事業) ・ 実施地域 7地区(事業費 160,948千円) ※ 平成28年度からの繰越分を含む	情報政策課
		専門家等による講演会等の開催	○ 「犯罪のない安全で安心なまちづくり大会・地域防犯ボランティア交流会」(10月15日、松江市)を開催し、その中で東京大学大学院稲野公宏准教授を招いて、「ブラス防犯のすすめ」と題した講演会を開催した。 ○ 「島根県特殊詐欺撲滅対策推進本部連絡会議」を開催し、立正大学西田公昭教授を招き、「なぜだましの被害に遭うのか?心理学からの特殊詐欺被害防止対策を考える」と題し、講演会を開催した。(H29.10)	環境生活総務課 生活安全企画課
	(6)鍵かけ運動の広報・啓発	安全安心アドバイザーや防犯設備士による研修会等の開催	○ 実績なし	環境生活総務課 生活安全企画課
広報媒体を活用した啓発と駐輪場等での注意喚起による鍵かけの普及促進		○ 防犯ボランティア等との協働により、駅や学校の駐輪場における防犯診断及び大型スーパー等における啓発活動を実施した。 ○ 4～5月を鍵かけ強化期間として設定し、テレビ番組や新聞広告枠の活用や街頭での広報啓発活動を行い鍵かけ普及活動を推進した。 ○ 吉田くんを起用したポスター等を作成・配布した。 ○ 高校生を対象とした「鍵かけ甲子園」の開催により、若者の防犯意識高揚を図った。	環境生活総務課 生活安全企画課	
(7)県民等の意識調査・研究	自動車盗や車上ねらいの自動車関連犯罪の被害防止	○ 4～5月を鍵かけ強化期間として設定し、テレビ番組や新聞広告枠を活用して鍵かけ普及活動を推進した。 ○ 防犯ボランティアとともに駐輪場等での鍵かけ点検を行った。	生活安全企画課	
	安全安心まちづくりに関する意識・実態調査	○ しまねwebモニター、県政世論調査により、「安全安心まちづくり」に関するアンケート調査を行った。	環境生活総務課 生活安全企画課	

## 「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画(第4期)」に基づく進行管理表(事業実施状況表)

## 第1 県民等による自主的な活動の推進

施策	事業	具体的な取組内容	H29実績	担当課
地域での自主的な活動、連帯意識向上の推進	(1) 防犯ボランティア団体への支援	自主防犯活動の継続・活性化支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各地区のボランティアリーダーによる「島根県地域安全推進員連絡協議会総会」を開催し、防犯活動の継続・活性化について情報交換と研修を行った。</li> <li>○ 『犯罪のない安全で安心なまちづくり大会-地域防犯ボランティア交流会』(10月15日、松江市)を開催し、その中で東京大学大学院榎野公宏准教授を招いて、「プラス防犯のすすめ」と題した講演会を開催、日常の活動に防犯の視点を加味した取組を紹介した。</li> </ul>	環境生活総務課 生活安全企画課
		防犯リーダーの育成支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中四国防犯ボランティアフォーラムにおいて、ボランティア団体が活動内容を発表するとともに、県内の防犯ボランティアを参加させ、防犯リーダーの育成を図った。</li> </ul>	環境生活総務課 生活安全企画課
		地域活動団体に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各地域の防犯ボランティアに対して青色回転灯などの防犯活動を行うための物品の貸与を行った。</li> <li>○ 自主防犯活動を活性化させるため、みこびー安全メール等により、安全安心情報等を継続的に発信した。</li> <li>○ 地域安全推進員及び青色防犯パトロール隊員をボランティア保険に加入し、活動に対する支援を行った。</li> </ul>	生活安全企画課
		「しまね防犯ネットワーク」への登録呼びかけ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県ホームページにおいて、登録の呼び掛けを行った。</li> <li>○ 子ども・女性のみまもり運動実施事業者を継続的に募集した。</li> </ul>	環境生活総務課
		優良活動団体に対する表彰	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 優良な活動を3年以上継続して実施している防犯ボランティア団体や事業所について、各市町村、警察署から推薦を受けた5団体に「犯罪のない安全で安心なまちづくり賞」を授与した。(2月)</li> </ul>	環境生活総務課
	(2) 様々な団体と連携した地域ネットワークづくり	住民の交流活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 青少年育成島根県民会議と連携して「しまね家庭の日」【しまニコッ!】県民運動の普及・啓発活動を推進し、地域・職場などの絆強化に努めるとともに、子ども若者チャレンジ事業により4団体を支援した。</li> <li>○ 公民館を核として、「公民館ふるさと教育推進事業」、「公民館ふるまい推進事業」、「地域課題型公民館支援事業」等を実施し、多世代にわたり地域住民が関わり合いながら、活気ある地域づくりを進める取組を行った。</li> <li>○ 公民館ふるさと教育推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施公民館等 27館 ・ 事業費 5,400千円</li> </ul> </li> <li>○ 公民館ふるまい推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施公民館等 19館 ・ 事業費 966千円</li> <li>・ 参加者数 約3,580人</li> </ul> </li> <li>○ 地域課題型公民館支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施地区等 34地区 ・ 事業費 15,933千円</li> </ul> </li> <li>○ ふるさと体験活動モデル調査研究事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施地区等 6地区 ・ 事業費 1,155千円</li> </ul> </li> <li>○ 親子と地域をつなぐPTCA活動活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施件数 4件 ・ 事業費 640千円</li> </ul> </li> <li>○ 「結集!しまねの子育て協働プロジェクト」においては、地域住民や児童生徒の保護者、学生など地域全体で活動を行う市町村への支援を行った。</li> <li>○ 少年に対するスポーツの参加や社会活動への参加を呼び掛け、地域における交流活動を促進した。</li> </ul>	青少年家庭課 社会教育課 少年女性対策課
		住民の連帯意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各地区のボランティアリーダーによる「島根県地域安全推進員連絡協議会総会」を開催し、防犯活動の継続・活性化について情報交換と研修を行った。</li> <li>○ 『犯罪のない安全で安心なまちづくり大会-地域防犯ボランティア交流会』(10月15日、松江市)を開催し、その中で東京大学大学院榎野公宏准教授を招いて、「プラス防犯のすすめ」と題した講演会を開催、防犯活動実施に向けた意欲を醸成した。</li> </ul>	環境生活総務課 生活安全企画課
	(3) 事業者の自主的な活動の推進	事業者による子どもや女性の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内の各事業者等に対して、「子ども110番の家」、「子ども・女性のみまもり運動」への参加を継続的に働きかけた結果、「子ども・女性のみまもり運動」実施事業者数が増加し、みまもり体制が向上した。</li> </ul>	環境生活総務課 生活安全企画課
		事業者による効果的な防犯活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 金融機関や小売店等の事業者に対し、防犯対策についての講習の実施及び犯罪情報の提供を行った。</li> <li>○ (株)FM山陰による「防犯キャンペーン」(新小学1年生に対する防犯ブザーの贈呈等)及び山陰中央新報社等による「黄色い手帳運動」(ボランティア団体に対する青色回転灯の贈呈等)を後援し、指導、助言を行った。</li> </ul>	生活安全企画課
		事業活動にあわせた自主的な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防犯CSR活動(防犯に関する事業者による社会貢献活動)の普及促進を図った。</li> </ul>	生活安全企画課
(4) 高齢者の社会参加活動の推進	高齢者による安全安心まちづくり活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 老人クラブが行うボランティア活動や高齢者大学の運営に対する支援を行った。</li> </ul>	高齢者福祉課	

「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画(第4期)」に基づく進行管理表 (事業実施状況表)

**第1 県民等による自主的な活動の推進**

施策	事業	具体的な取組内容	H29実績	担当課
3 特殊 詐欺 を 発 生 さ せ な い 気 運 の 醸 成	(1) 個別訪問等による被害防止広報・啓発の充実	警察官等の戸別訪問活動時での直接的な被害防止広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者に対する個別訪問により、最新の手口の紹介や被害防止対策等について直接的かつ具体的な注意喚起を行った。</li> <li>○ 特殊詐欺被害防止コールセンターを設置(5月～H30.3月)し、電話による直接的な注意喚起を行った。</li> </ul>	環境生活総務課 生活安全企画課
	(2) 各種媒体を活用した被害防止の広報・啓発の充実	各種広報媒体を活用した特殊詐欺被害発生状況、防止対策等の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テレビ、新聞、ラジオ等に加え、みこびー安全メールや島根県警察安全安心ツイッター、たまさけないソウくんツイッター等を活用して、被害発生状況や被害防止対策に関する情報を発信し、被害防止のための広報啓発を行った。</li> </ul>	環境生活総務課 生活安全企画課
	(3) 被害発生時の被害拡大防止のための迅速的確な情報提供	被害発生時の手口等の広域的な情報提供による被害拡大防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 被害発生時はテレビ、新聞等各種広報媒体を活用し最新の手口等に関する情報を早期に提供した。</li> <li>○ 特殊詐欺の前兆電話認知時に、メール、ツイッター、告知放送を活用し、早期に情報提供し、被害拡大防止のための注意喚起を行った。</li> </ul>	環境生活総務課 生活安全企画課 捜査第二課
	(4) 出前講座、被害防止研修会等の充実	特殊詐欺に関する出前講座や被害防止研修会等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特殊詐欺被害防止等のための出前講座や研修会を開催し、県民の抵抗力を高め、被害発生時の未然防止のための活動を行った。</li> <li>○ 防犯教室等への参加呼び掛けを推進した。</li> <li>○ 寸劇や歌を盛り込み、親しみやすい防犯教室を行った。</li> </ul>	環境生活総務課 生活安全企画課
	(5) 金融機関等と連携した水際阻止対策の強化	チェックシートの確実な活用や声かけの徹底等による未然防止活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 金融機関等に対する声掛け訓練を行い、チェックシートの活用方法等を確認するなど被害防止のための連携を強化した。</li> <li>○ 「振り込めメールネット」により、特殊詐欺に関する情報をタイムリーに発信し、水際阻止対策を強化した。</li> <li>○ ボイスボリス、特殊詐欺被害防止ポップを活用したATMでの被害防止対策を推進した。</li> <li>○ 宅配業者に対し、宅配便等で現金送付する被害防止のための「現金は入っていません」シールを継続配布し、窓口での声掛け強化を図った。</li> <li>○ コンビニエンスストア対象に電子マネーによる被害防止用封筒を配布し、レジでの声掛け及び被害防止対策を強化した。</li> </ul>	環境生活総務課 生活安全企画課